

たまねぎ

ここが魅力

- ・ 家庭では欠かせない野菜であり、学校給食などの加工業務用需要も多い品目。
- ・ 定植機や収穫機などの活用で、作業の省力化による大規模栽培が可能。
- ・ 収穫後、貯蔵し、長期出荷が可能。
- ・ 水田裏作での栽培が可能。

<参考>

単収（目標）：4t/10a

価格（目安）：75 円/kg



たまねぎ全自動定植機

作 型

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7~10 月
○ 播種	△ 定植								収穫	貯蔵出荷

栽培方法

品 種

ソニック、ネオアース、OK黄、アトンなど

栽植密度

畦幅 140 cm、 株間 12 cm、 4 条植え、 23,000 株/10a

施 肥

基肥：窒素、リン酸、加里の各成分で 6kg/10a

追肥：12 月上旬、消雪直後、4 月上旬に、各成分で各 6kg/10a ずつ

発生しやすい病害虫

さび病（5~7 月）、べと病（3~5 月）

栽培のポイント

- ・ 排水の良いほ場を選定するとともに、深い額縁排水溝を設置するなど、排水対策を徹底する。
- ・ 適期（9 月 10~15 日）に播種する。
- ・ 茎径が 6~8mm の揃いのよい苗を用いるとともに、10 月中旬~11 月上旬までに定植し、活着を促す。